

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等 小規模 )

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所 在 地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和7年8月1日～令和7年9月30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	小規模保育事業 はなみずきこども園五香ルーム ショウキボホイクジギョウ ハナミズキコドモエン ゴコウルーム		
所 在 地	〒270-2261 千葉県松戸市常盤平5-11-23インシュランスビルⅡ102号		
交通手段	京成電鉄 五香駅下車 徒歩2分		
電 話	047-711-9975	FAX	047-711-9976
ホームページ	<a href="https://sawarabi-fukusikai.or.jp">https://sawarabi-fukusikai.or.jp</a>		
経 営 法 人	社会福祉法人 さわらび福祉会(昭和45年4月設立)		
開設年月日	2016年4月		
併設しているサービス	なし		

(2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	6	6	6				18		
敷地面積	㎡			保育面積		87㎡			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	定期健康診断、歯科検診(2歳児)								
食事	離乳食・幼児食・手作りおやつ・アレルギー対応(除去食)								
利用時間	7:00~19:00(土曜日:7:00~18:00)								
休 日	日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)								
地域との交流	夏まつり・運動会(連携園と合同)								
保護者会活動	保護者会はなし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	2名	5名	7名	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	7名			
	保健師	調理師	その他専門職員	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	松戸市役所 保育課に申請	
申請窓口開設時間	市役所開所時間(8:30~17:00)	
申請時注意事項	保護者が就労、あるいは病気により家庭保育に欠けるなどの事情	
サービス決定までの時間	前月15日までに申し込み、市役所保育課で検討後決定される	
入所相談	保育課窓口 保育園窓口	
利用代金	松戸市役所の基準(所得税金額)により決定	
食事代金	保育料に含まれる	
苦情対応	窓口設置	あり
	第三者委員の設置	あり

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【法人方針】 子どもたちの一人ひとりが持っている輝きを大切にします。人間形成の基礎となる乳幼児期に大人から愛情をしっかり受け、未来への希望を持って輝き、成長していく子どもたちであってほしいと願っています。知育・徳育・体育のバランスのとれた人間形成を目指します。</p> <p>【ルームの基本方針】 ○当ルームは、保育の提供にあたっては、入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することにもっともふさわしい生活の場を提供するよう努めます。 ○当ルームは保育・教育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行います。 ○当ルームは、利用乳幼児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、利用乳幼児保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努めます。</p>
<p>特 徴</p>	<p>○家庭的な雰囲気大切に、一人ひとりの子どもの個性や発達に応じた丁寧できめ細やかな保育を心掛けています。 ○たくさんの絵本を読み聞かせ、豊かなことばに触れる機会を増やしています。 ○連携園の行事（夏まつりや運動会）に共に参加し、交流を図ることができます。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>○子どもが満たされ、安心して過ごせるようにスキンシップを重視しています。温かい雰囲気の中で豊かな人間性を育ていけるよう保育し、保護者から信頼される保育施設を目指しています。 ○子どもの心に寄り添い、優しい気持ちと熱意を持って園児に接するよう心がけています。</p>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

### (保育所等 小規模 )

#### 1. こどもたちと保育士との十分な愛着関係の下、適切な保育を展開

当ルームの保育士はバランスの良い年齢構成で、幅広い年齢層の方が従事している。保育士同士の人間関係も良好で連携もスムーズであり、どの保育士の表情も穏やかで、笑顔で子どもたちと接している。また、0歳児から2歳児まで各6名の子どもたちへの声掛けや寄り添い方等には保育士としての専門性や愛情が感じとれる。ルーム内は月齢や年齢、活動に応じて臨機応変に活動場所が確保できるよう、簡単に移動できる仕切り板を用いて、ルーム全体を分け、活動しやすく、集中しやすい場としている。このような環境の中で、こどもたちは一人ひとりが思い思いに活動し、この空間だけが子ども自身のペースで時間がゆっくりと流れているようで、保育士との愛着関係が十分に形成されていることが伝わってくる。こどもに寄り添う保育は利用者との信頼へとつながり、良好なアンケート調査結果に結びついているものと思われる。

#### 2. 保育士との食事前の会話が楽しい給食の源・ルーム内は衛生面に配慮され、常に清潔

給食の配膳が終わると、2歳児のテーブルでは保育士が、食材一つひとつについて尋ね、説明して、食への関心を高め、生き物を食していることに気づかせている。食事前のこの会話は穏やかな雰囲気醸成し、落ち着いたゆったりとした給食の時間に繋がっている。また、小さなテーブルに4～6人で向かい合って座ると一人のスペースはほんの僅かとなってしまうが、器を間違えたり、食事に集中できなかったりするトラブルも少ないことに感心させられる。1歳以下のこどもたちは個々の食事台ではなく、保育士の援助の下、4人掛けのテーブルで上手に食べていることから、日常の保育の素晴らしさを感じ取れる。他方、キッチンのスポンジには使用する目的や用途に応じて(殺菌庫・大人・なべ・トレイ・こども・エプロン・哺乳瓶等)マジックで大きく書き、壁に吊るして乾燥させるなど、細菌増殖を防止している。トイレも掃除が行き届いている。0歳児の食食用エプロンは園のものを使用して清潔を保とうとしている。

#### 3. 外国籍のこどもに対してもきめ細かな保育

言葉や習慣が違うこどもや保護者への言葉がけや食事の配慮をしている。主食の異なる国のこどもには、家庭から持参してもらって提供している。ルーム長などは翻訳アプリなど使いこなし、育児相談を行い、担当保育士は外国籍のこどもに対しても会話を馴染むようにゆっくりと話し、分け隔てのない保育に努めている。

#### 4. 働きやすい職場環境で意欲ある保育士による一体感のある保育

運営母体であるさわらび福祉会の職員育成システムにより、当園職員もひとり一人の専門性やスキルを高める様に日々、研鑽・努力している。法人研修に関しては、新人育成から各ステージにおけるキャリアアップまで計画的な取り組みがなされ、保育士の状況に応じて保育力の向上が図れ、保育士ひとり一人の意欲に結びつき、ルーム保育士のスキルが保たれている。中でも乳幼児保育は、こどもとの会話が少なく、単調になりがちな日常であるが、系列ルームの保育士間で年齢別会議を持つことで、喜びや悩み等を共有でき、保育士のモチベーションの向上に資するものと思われる。また、休暇制度の中にはアニバーサリー休暇や押し休暇等、当法人特有の休暇もあり、職員のストレス解消ややる気の源の一つになっている。複数の職員が急に休暇を取得したい場合など、少人数のルーム職員だけでは調整が難しい場合は、連携園のはなみずきこども園から応援の職員を手配してもらえ、気兼ねなく取得できる。年度はじめには希望に応じ、休暇を計画的に付与し、取得率(消化率)を高めるよう努めている。ルーム長や同僚とのちょっとしたコミュニケーションも大切にし、職員間の関係も良好なので、保育ルームとしての一体感がある。当ルームで働くことへの満足度も高い。

## さらに取り組みが望まれるところ

### 1.天候の様子や時刻によって採光の移り変わりなどを感じられる環境づくり。

ルーム内は収納や職員のロッカースペースなど、非常に工夫され、災害時の配慮もされている。立地条件上、外から内部が見えないようにするのはやむを得ないと思うが、一日中外部が見えない環境である。ビルの1階、周辺環境等の制約条件もあるのは理解出来るが、一日の空や天気の違い、人や物の往来、外部の喧騒等を見たり聞いたりして、五感を刺激出来るように改善や工夫をご検討頂きたい。

### 2.乳幼児教育・保育の専門性を育む仕組みづくり

法人の理念として未来に希望を持って成長することも育成を目指している。自分で判断できる根っこの「考える力」を育成することが大切である。乳幼児の読み聞かせ文化は「考える力」に結びつく。幸いルーム長は絵本への関心も高いので、絵本を考える職員のサークルなど立ち上げてほしい。選書は基本は福音館「こどものとも」を中心としたものを購入しているが、保育士が読んであげたい絵本を選ぶ選書の根拠となるものを職員で共有しながら、スキル向上と五香ルームの個性を作り上げてほしい。

## (評価を受けて、受審事業者の取組み) 五香

今回の受審にあたり評価項目をチェックすることや当法人やルームの取り組みを再確認することで保育を顧みる良い機会となった。

0～2歳の時期は周りにいる保育者との愛着関係が大切で、それが今後生きていく中で土台となりうるもので、子どもの育ちに非常に大切な役割を果たしている。日々の保育の中で大切にしている事を見える化し、保護者や地域にアピールをすることで、認知してもらい、評価してもらえるよう取り組んでいきたい。

評価機関よりご指摘いただいたこと、改善案の中ですぐに取り組める部分は速やかに取り組み、法人の中で検討する必要がある部分については関係各所と相談し、検討していきたい。

今回高評価していただいた点は全職員で共有し、自分たちのよいところを大切にしながら、よりよいルームとなるようにさらに努力していきたい。



## 項目別評価コメント（小規模保育）

（保育所等 小規模）

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。  非該当

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>（評価コメント）</p> <p>理念や基本方針、教育、保育目標等はホームページやパンフレット、入園案内・ルームだよりに明記し周知している。これらをルームの玄関に掲示し、保護者や職員が共有している。毎月の職員会議や研修会を通して、理解が深まるよう努めている。日常保育では、日々職員間で話し合い、振り返りをして、理念等についての考え方を共有すると共に、毎月自己評価表を記入する際には理念等と実践を結びつけて振り返るようにしている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>（評価コメント）</p> <p>入園案内には理念や方針等がわかりやすく記載してある。入園時や進級時にルーム長が各種印刷物（ルーム運営規定、年間行事予定等）を基に、日常の保育や行事等も含め丁寧に説明し、周知に努めている。日常の保育の様子はコメント付きの写真で毎日配信（アプリ：コードモン）している。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>法人の事業計画は理念や方針に基づき本部で作成している。理事長や各園長等による運営会で事業内容や課題・方針等について検討され、それを受けてルームとしての中長期計画を立案・実践し、振り返りを行う中で必要に応じて加筆・修正している。法人全体のルーム長会議やルーム長・職員との話し合った内容は各園長が集約し、運営会の議事に反映させると共に、その内容は議事録にして、全職員に伝達している。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>100日プロジェクトと称して、保育の質の向上や業務の効率化・簡素化等に関してアイデアを募り、採用された提案者を表彰し、職員の創意・工夫を促す、意欲を高める取り組みを続けている。研修に関しては月1回の内部研修と職員の興味・関心に応じて外部研修を受講できるようになっており、職員の質の向上に寄与し、意欲や自信に繋がっている。研修報告書はファイルされており、だれでも閲覧できる。定期的に面談を行い、ストレスや人間関係を把握し、賞賛したり助言したりして良好な職場環境創りに努めている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>フィロソフィノートに新たに「目指す職員像」が掲げられ、職員としてのあり方が示されていることは法人としての一体感を醸成する上でも、同じベクトルを目指す上でも重要な要素であり、全職員がそらんじられるようになってほしい。これが達成できれば順法精神に関しても十分である。とは言え、法人としてのコンプライアンス規定も作成されており、入職時の説明や研修を通して、理解が深まるよう努めている。個人情報やプライバシー保護に関しても同様に理解が深まるよう機会を捉えて、周知している。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>登降園の確認や保護者へのメール配信、日々の業務記録等々は連絡アプリ「コードモン」を活用し効率化を図っている。また、Zoom会議を導入することで、移動時間を省いたり、その場にいらない職員にも周知できる等、業務改善が図られている。勤務体制や服務整理簿等はルーム長が管理している。正職・非正職を問わず年間を通して計画的に有給休暇が取得できるよう配慮している。また、急な休暇取得も連携園の応援が得られるなど、取得しやすい、働きやすい環境が整っている。法人としてソウェルクラブに加入しており、全職員、福利厚生サービスを享受できる。</p>	

評価項目		標準項目	
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
職員の採用に関しては法人本部が計画的に行っている。定着・育成に関しては本部の方針に基づきルームとして計画的に取り組んでいる。職務分担に関しては役割と権限が一目でわかるように一覧表にまとめて掲示してある。職員は年度初めに目標管理シートに各自年間の達成目標を掲げ、年2回、上司と振り返りを行っている。上司との振り返りにより、評価の透明性や説明責任を担保している。この際、上司は意欲やスキルアップにつながるよう、賞賛や励まし、アドバイスに徹するようにしている。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
職員には正職員・準職員・パート職員の3通りあり、安定して人材の確保ができるよう、非正規職員から正規職員へ登用する仕組みが整っている。トレーナー制度を設け、新規採用職員が安心して業務に従事し、学び、成長できるよう組織として取り組んでいる。法人として必要とする人材の求人案内をホームページに掲載したり、実習生に働きかけたりして人材の確保に努めている。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
フィロソフィーノートに法人としてのキャリアアップシステムが明示されている。年度初めに園内・園外研修予定が提示され、それを基に全職員を対象に職種別・役割別等を考慮し、個人としてもルーム全体としてもキャリアアップが図れるよう研修に計画的に取り組んでいる。新規採用職員の育成に関してはトレーナー制度を活用して日常の保育現場で先輩職員がトレーナーとなり、保育の支援やアドバイスをしたり、対保護者に関してサポートをしたり、事務処理を援助したり、と共に業務を行うなかで保育力(スキル)が身につくように努めている。また、一日の振り返りにはマイジョブノートを活用し、書くことで自身の保育を深く見つめなおすきっかけにするなど、OJTのに取り組んでいる。マイジョブノートは担当者だけでなくどまらず理事長も見ているとのこと。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
フィロソフィーノートや各種印刷物を基に、全職員を対象に子どもの尊重や基本的人権に対する理解を深めるための研修を実施している。また、全国保育士協会が作成している「人権擁護のためのチェックリスト」を毎年行い、人権意識向上の一助としている。子どもに資する保育、不適切保育等に関して職員間で話し合いながら振り返り、共有するようにしている。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報保護に関する方針や利用目的等については法人のホームページやパンフレットに記載したり、ルーム玄関に掲示したりして、保護者や職員がいつでも見られる、共有できるようになっている。個人情報使用同意書には利用目的、第三者提供、開示・変更・削除に関して明記している。入職時には必ず守秘義務や遵守すべき事項に関しての説明を行い、誓約書を交わし職員としての意識化を図っている。当ルームの運営規定にも個人情報保護に関し、明記している。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
利用者の要望や苦情等、自由な意見をいつでも投稿できるよう玄関に「ハートボックス(利用者が自由に意見を投稿できる)」を設置し、利用者の思いを汲み取るシステムがある。また、利用者の質問や疑問等については、その都度話し合ったり、必要に応じて面談したりして、誠意をもって迅速に対応し、理解を得られるよう努めている。その内容については必ず記録し職員間で共有できるようにしている。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
入園案内には苦情受付担当者や解決責任者、及び第三者委員が明記され、それらはルームにも掲示して周知している。相談や苦情等に対応するためのマニュアルが整備されており、相談や苦情が速やかに解決・改善されるよう組織的に取り組んでいる。また、丁寧な説明に心がけ、利用者の理解が得られるよう努めている。			

評価項目		標準項目	
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
職員は毎日、保育を振り返り、月末にはそれらを基にその月の実践について自己評価を行い、次月の目標を立て、実践へ、というサイクルが確立し、機能している。また、年度初めに目標管理シートを作成し、年2回上司と共に振り返りを行い、次の目標設定に生かすことで保育の質の向上に繋げている。自己評価や第三者評価の結果は公表している。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的の実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
日常の標準的な業務に関しては法人が作成したマニュアルがある。さらに当ルームの実情を踏まえたマニュアルも用意していて、基本的な業務内容や手順が明確化されている。ルームのマニュアルは、定期的な、あるいは、必要に応じた職員との話し合いに基づき随時見直している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
法人のホームページは、丁寧に園の様子がわかるように工夫されている。園見学や電話対応はルーム長が主に行っている。4月から10月までに見学者が多く、掲示物やパンフレットなどでルームが大切にしている育ちや質問などに、丁寧に説明していることがルーム長の人柄から伝わってくる。短時間で見学が終わるので、可能であるなら、パソコンで、散歩・公園遊びの風景や給食、午睡、散歩景、夏まつり、運動会などの様子を動画や画像で説明をすれば、ルームの保育環境を心配している保護者にも安心感を与えられると思われる。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(松本評価員コメント)			
入園説明会で「入園案内」と「五香ルーム運営規定」を説明をしてから、承諾書で保護者の意向確認をしているが、「入園案内」の副題として～重要事項説明書を含む～とすれば、より理解しやすいし、同意の根拠となる。基本ルールを説明をしてから、こどもたちの生活を保障する職員の専門性や家庭に対する支援を大切にすることを伝えていることにより、保護者の信頼を増している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
保育に対する園の理念や権利条約などを包含した全体計画は法人が作成している。それらに基づいて、五香ルーム事業計画を作成している。年度の全体計画や年間、月、週、行事案などの計画も明確にされ、こどもの育ちと実際の姿を見ながらルーム長と担任で保育計画が立てられている。地域のとの関わり方(散歩コースなど)もわかりやすく記載されている。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
計画は長期と短期で立てられており、クラス別に養護と保育・教育の年間、月、週案と発達段階を考慮した計画がある。週案は全体案として記録される。五香ルームは乳児で構成され、ワンルームであるがゆえに、同じ活動が多いと思われるが、発達段階が異なっているので、保育士の認識を明確にするためにも各クラスのねらいや振り返りは必要である。書式は一枚でもよいが、年齢別に記入する欄があると、発達を認識することで保育スキルが向上して専門性が育まれる。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
小規模ルームの利点が最大に生かされる保育環境である。0歳児と1、2歳児が分けられていて、ハイハイ、伝い歩きの0歳児の安全が保障されている。1～2歳児にはこの時機に指先を使うことが脳の発達に望ましいことを踏まえ、自己決定をしたパズルや手作り玩具、市販の物が取り出しやすく、更に片づけやすい工夫がなされている。園庭はないが、玄関前に水遊びができるスペースがあり、室内でのスペースも体操などで体力づくりができるような配慮がされている。こどもたちが遊びたいことができる声かけが見られた。乳児にとって、家庭生活と同じような毎日が送られていることはルーム保育の利点である。			

評価項目		標準項目	
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
限られたスペースであるが、保育者の工夫した環境設定で、エネルギーを発散したり、感覚あそびを通して体力づくりをしたりしている。手遊び歌や絵本をとおして言語の発達を促している。降園時、保護者に子どもの一日の様子など伝え、コドモンで身体測定の記録や体温・健康状態を日々伝えるシステムを取入れ保育者と保護者で共有している。保護者懇談会や個別面談は年に1回で、希望者にはその都度相談ののっている。個人記録表に入園までの生育歴や入園後の発達過程が記録されて、次年度の担任と共有している。手遊びや絵本を媒体として発話を促したり、語彙を増やしたりして、情緒の安定につながるようにしている。友だちと一緒にすることの楽しさを伝えている。個人の成長は個人記録簿で管理されて、職員間で共有されている。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
1・2歳児は自我が目覚める時機であり、自分の気持ちが言葉では相手にうまく伝えられず友だちとトラブルが多くなってくる。保育者はトラブルになっても、わかりやすくお互いの気持ちを整理できるような言葉かけを研修などで学んで解決している。声掛けや解決の仕方を保育者で振り返り、共有できる環境作りに取り組んで頂きたい。絵本は表紙を見るだけでも内容を思い出し、楽しむことができる媒体なので、絵本の表紙を見せるディスプレイ等の工夫、幼児教育施設では商業絵本よりは、昔話や読み続けられている絵本を多く提供するをご検討頂きたい。個人の成長は個人記録簿で管理され、クラス担任で共有されている。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価員コメント) <input checked="" type="checkbox"/> 該当せず(非該当)			
24	身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
園は人通りの道路に面しており、さまざまな人たちの姿を目にする環境である。散歩地図や公園マニュアルが作成されており、その際の注意事項も細かく記載されている。散歩に行くときは目的地やクラス、人数確認、引率職員などを提出して安全に努めている。地域の方々とも挨拶などで交流して、地域の人たちも声をかけてくれる。特に散歩リーダーが「保育キャプテンマーク」を付けて全体の安全面を担っているのは評価に値する。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。		
(評価コメント)			
1～2歳児は自我のめばえと共に友だちと同じことをする楽しさを身に付け、集団の中で社会ルールを身に付ける時期でもある。当法人内で、同年齢児を担当している保育士での会議をもっている。育ちを確認するためにも必要な会議だと思われる。レゴや積み木やごっこ遊び環境も充実して、手作りレンジや洗濯機などは見事である。保育士のこどもへの愛情が感じられる。こども同士で遊びの仕方を工夫しているのを見守る保育士の姿がほほえましく保育者を信頼している姿があった。2歳児になると手慣れを好むようになるので、簡単な役割を決めると、自己達成感を得ることができる。			

評価項目		標準項目	
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント)			
配慮を必要とする園児が在籍するクラスの担任は障害児教育及び保育に関する研修を受ける。また、日常の保育の中で、特別な配慮を必要と思われる園児がいた場合は、医療機関や専門機関に相談したり助言を頂いたりできる体制が整っている。保護者とこどもの状態を共有し、同じように子どもと向き合うよう助言する。現在は特別な配慮を必要とする園児はいない。			
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
保育中に起きた小さな事故や怪我に関しては引き継がれており、引き取り時に保護者へ説明している。スペースの関係で、あえて異年齢保育と言わなくても異年齢が自然に行われている。土曜保育は人数の関係で、連携園で行われるので、園庭で遊ぶこともできて環境は恵まれている。保育時間が長いと疲れて情緒が安定しない傾向があるので、スキンシップに努め穏やかに過ごせるよう努めている。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
懇談会や個別面談、降園時の情報交換の場は設けられて、保護者からの苦情は寄せられていない。両親とも、あるいは片方だけが外国人籍の保護者が在籍しているが、ルーム長は事務的なことを伝えるのにスマホの翻訳機能などを使用している。しかし、懇談会などは欠席が多いようである。懇談会を通じて我が子が育っている環境と馴染むことは、こどもにとっても嬉しいことであり、異国での子育て生活を豊かにする。時として、行政の通訳ボランティアに出席してもらうのも保護者支援であると思われる。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当)
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育つを支えるため、保護者の理解のため、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 非該当)
(松本評価評価員コメント)			
連携園には小中学校などから体験や実習が行われているが、当園はスペースの関係からか受け入れてはいない。高齢者との交流なども、感染症がおさまる季節を見計らって2歳児などが訪問する機会を設けてもよいかもしれない。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
虐待に関しては、松戸市虐待対応マニュアルに沿って行い、疑われる時はルーム長に報告をして継続観察の上、写真や記録をしている。心配される家庭は松戸市子ども家庭センターと情報を共有して、登園降園時の保護者とこどもの関係に留意している。虐待に関する研修も行われている。一方、保育士による虐待も社会問題になりつつあり、保育士が生育歴で何気なく言った言葉や行為が虐待につながっていることもあるので、声かけの内容に疑義がある場合はルーム全体の保育士が共有できるように、遠慮なく話し合える関係を築いてほしい。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
入所時に提出された児童健康生活調査票を基に健康状態などを把握して、毎月の身体測定(コドモンで結果を配信)と年2回の委託医による内科検診(口頭で保護者へ伝える)を行い、2歳児のみ年1回の歯科検診を行っている。毎朝の受入時に視診を行い、通常と違うこどもの状態であれば保護者に聞きくようにしている。午睡時には0歳児は5分、1・2歳児は10分ごとにブレスチェックと体位チェックを行い、午睡担当の保育士が個々の睡眠チェックリストに記録し、安全確保に努めている。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、囑託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて囑託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感性症に対しては業務継続計画(BCP)に記載されていて、定期的に見直している。保健マニュアル(感染症マニュアル)には職員が感染源とならないためや保育室の衛生管理、感染した時の対処の仕方など明記され、発症した場合の状況記入シート(インフルエンザ、コロナなど)などが作成されている。また保育統一事項として、掃除・消毒・嘔吐処理・おむつの交換・おやつ提供の仕方などが作成されて、保育士にもわかりやすい注意喚起が行われている。感染症、疾病などの対策が徹底されている。			

評価項目		標準項目	
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(松本評価員コメント) 法人の食育計画の基、提供される給食は半月ごとに同じメニューとなるサイクルメニューとなっている。献立表(世界の食や誕生日食を含む)は月1回配信している。家庭ではなじみのない献立が月に2回出ることで、こどもたちに「食べてみようかな」との気持ちを育てようとしていることが伺われる。外国籍のこどもには家庭の希望で昼食の持参(主食のオートミールなど)を受け入れている。離乳食の献立も配布されている。手づかみからスプーン使用に移行するのこども自身の個性を尊重しながら進めているのが好ましい。無理強いすることのない食事風景である。今年度はアレルギー児が在園していないが、該当児が入園した時に共有するマニュアルも作成されている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) 保育室の温度、湿度、採光、音などの室内環境は配慮されているが、採光の部分の、窓にはカーテンや仕切りがあり、更に、職員のロッカールームなどがあり、圧迫感があるのは否めない。道路に面している窓なので、視線など気になり、個人情報保護や犯罪防止の観点からも、目隠しは必須である。可能なら窓の上部から空や一日の天気の様子等がうかがえる工夫が望まれる。開園当時から課題であり、間仕切りなど驚きの工夫がされているが、今一度窓から一日の移り変わりが見える窓の工夫をしてほしい。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 事故対応マニュアルや事故報告書も作成されて園内対応と園外対応シートも準備されている。公園内の地面にガラス、釘、ゴミ、たばこの吸い殻などが無い、不審者はいない、あるいは、遊具(すべり台、鉄棒、ジャングルジム)などが安全か、細かなチェックを行い、安全確認を行っている。各クラスの「安全マニュアル」には日常生活で起こり得る危険を必要な項目ごとに(常に心掛けること:保育室の確認、健康管理、子ども同士のトラブル、戸外遊び、室内遊びなど)分類し、危険防止・回避に関して理解しやすく明記されている。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント) 自然災害については事業継続計画として策定されている。特に大規模災害想定は「松戸市業務継続計画」が引用され、五香ルーム被害予想を地図で可視化している。災害時の役割分担もされ、また、避難場所に至るまでの危険箇所を写真で明示しており、避難経路がわかりやすい。災害時の保存場所と内容が明記され、食品類は室内、食器やペーパー類、おむつなどは園裏ボックスに収納されている。持ち出し袋の内容も明記されて、電池などの消費期限も確認できる。避難訓練は毎月1回実施して、防災訓練実施記録簿に記載され、結果・反省事項などの欄もあり、振り返りもしっかりされている。災害時の保護者との連絡はNTT伝言ダイヤルを活用している。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント) ルームでの子育て支援としてのイベントは実施していない。当ルームはスペースの関係で、施設開放や体験保育は実施していないが、連携園で実施されている。子育て相談や地域の子育て支援の情報提供はチラシなどを置いている。おむつ替えや調乳のお湯などの提供シールはイラスト入りの目立つデザインで扉上部に貼っているが、利用者はいない。気軽に利用できるような工夫が必要と思われる。			